

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

病院組合ニュース

2026. 7. 24

No.199

愛知県病院事業庁職員組合
〒453-0016 名古屋市市中村区竹橋町36番31号
電話(052)212-8031 FAX(フリーダイヤル)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp
発行責任者 近藤 陽介



第39回 中央委員会開催 11月までの活動方針決定

6月22日、アイリス愛知において、第39回中央委員会を開催しました。
(中央委員定数22名のうち、出席17名、委任状提出5名、欠席0名)
中央委員会は、初めに一般経過、中央委員会委員・各種委員会委員、選挙管理委員会の報告を行い、次に当面の取り組みについて議案提案し、質問はなく、賛成多数で承認、可決されました。

委員長の挨拶
本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。病院という忙しい組織から時間を作って来ていただき、本当にありがとうございます。
今回の中央委員会に初めて参加される方がいると思うのですが、今後の方針を決めていく上で重要な会となっておりますので、是非みなさん積極的な発言、意見交流をしていただきたいと思っております。
最近賃金が増えていますが、病院としては人件費がアップして非常に苦しい、さらに物価高もあり病院運営、特に公立病院は厳しいといわれています。われわれ労働組合は交渉力をもって組織の在り方を示していく、また加入率を増やして労働条件や職場環

境を改善していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。
議案の説明
当面の取り組み
○医療をとりまく情勢
総務省のまとめで、2024年度に赤字となった公立病院は、東海3県で9割以上となっている。愛知県下の市民病院では、救急医療などを担う地域の中核病院が過去最大の14億円(赤字)となり、精神科と血液内科の診療停止と小児科の入院診療停止など採算の取れない診療科の停止や夜間の救急体制の縮小などが報道されている。また、過去最大の赤字となった別の市民病院がある市は、病院への一般会計の負担も増していることから、他の市民サービスへの影響を懸念している。

○新がんセンターに対する取り組み
この4月からは、病院事業庁経営課に「新がんセンター整備グループ」が作られて業務を行っている。組合員が気にしている工事中や工事後の駐車場などは、病院事業庁へ伝えた。今後も進捗状況などを確認して知らせるとともに、意見や要望を伝えていく。
○小児センターの将来のあり方に対する取り組み
昨年の9月に知事の記者会見がされてから情報が無いが、新しい情報が発表されれば組合員に周知するとともに、説明を求めていく。
○組織拡大の取り組み
各分会において新規採用者へ組合説明会を行い、今年度は3分の2を超える加入状況。引き続き新規採用者の加入促進を行っていく。

夜の劇場外観も迫力が...

病院組合交流会

劇団四季のオペラ座の怪人は凄かった!

定番ですが
オペラ座の怪人
MTG 8.6 世界初演
2026年 7月16日
今日の記念に

トイレのピクトグラム
頭がエビフライ?

7月16日(木)病院組合交流会
「劇団四季 オペラ座の怪人」観劇会を開催しました。
7月5日にオープンしたばかりの劇団四季の新劇場。
そのこけら落とし公演ともいわれる「オペラ座の怪人」に組合員と賛助会員30名が参加し、キャストの歌声の迫力にビックリ!
大感激の交流会となりました。

歌声のあまりの迫力に
観劇当日はよく眠れないほどでした!

舞台が近く、怪人があちこちに現れたり、音響の効果で本当に怪人が座席に後ろにいるみたいに聞こえたり、舞台装置が動いて場面が次つぎへと変わっても違和感なんて全く感じずに引き込まれました

他の方から舞台豆知識を頂けて、とても楽しい時間でした!

劇中の様子
撮影: 阿部章仁
※劇中の写真は劇団四季からいただきました。

きれいな劇場で開演前の舞台からワクワク

アプリ登録のお願い



TUNAGアプリでは、病院組合交流会・病院組合レクの開催などを先行してお知らせしています。また、その他組合活動やお役立ち情報・お得な情報等が掲載されていますので、TUNAGアプリをご活用ください。
☆インストール方法は、職場に配布済みの愛知県職やチラシに掲載されています。
★TUNAGアプリは自由度の高いアプリなので、導入当初から改良を重ねています。「メニュー」→「病院組合向け」をご確認ください。病気休職者の組合費免除申請や休職から復帰の報告などもできるようになっています。

組合ハンドブックの補足について

2026年版の新しい組合ハンドブックが順次配布されています。従来のA4版で発行していましたが、2026年度はA5版に縮小し、制度の概要のみを収録した「簡易版」となります。ハンドブック完全版はTUNAGアプリに掲載されておりますので、ご確認ください。また、組合員ハンドブックには掲載されていない病院組合員向けの補足があり、こちらは各部署1枚ずつ紙で配布しています。こちらもTUNAGアプリにて確認することができます。



第53回医療研究全国集会 in 茨城

病院組合では毎年、全国で働く医療関係の仲間と一緒に学び、情報交換などを行うため、各種集会等への組合員の方に参加していただいています。今年は6月27日（土）28日（日）に茨城県のザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催され、2名の組合員が参加しました！
レポート第1弾です！

「ジェンダー視点で日本の社会を考える」
「ジェンダー視点で日本の社会を考える」
日本の社会を考える」
をテーマに茨城大学教授の青山玲さんが様々な統計と共に話してくれました。
現在、日本の労働現場は、依然として男女間の格差が存在し、特に女性には職場での支援やキャリア構築において多くの課題に直面しています。特に、扶養の問題や育児との両立が影響し、女性の離職率は高く、その結果として人手不足も深刻な問題となっています。人手不足の解決には、ジェンダー観点から日本の労働環境を分析し、女性が働き甲斐を持ち、子育てと仕事を両立できるような社会政策が必要と言われています。その必要な政策として、

①財源の確保として女性が勤労と納税の義務を果たせる社会への転換
男女問わず働き方に中立な政策制度
②深刻な人手不足の緩和・労働力の確保
ターゲットは主に女性で扶養制度をなくし労働抑制的な制度を止める
③仕事と生活の両立に不可欠な社会福祉サービス
介護・看護を理由とする離職率の低下を防ぐ
④医療福祉分野でも働き方改革で両立できる職場作り
離職させない職場作り、ワークライフバランスのできる職場作りが挙げられます。
ジェンダー格差（女性が家庭での育児や家事を担うことが多いという社会的な認識）をなくし、女性の力を活かすキャリアを積み重ねる事ができる職場作りが挙げられます。

この様に日本における女性の労働環境を改善するためには多くの取り組みが求められます。ダイバーシティメントやリテンションマネージメントを通じて、女性が安心して働ける環境を整え、生産



性の向上や人手不足の解消を図る必要があります。
病院組合でも離職の理由として「小1の壁」があります。制度の改革は難しいですが、訴え続けて離職率の低下を抑制し、これにより職場の活性化に繋がるように今後も努めて行きたいと思っています。
（精神 神）

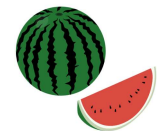
加入は、レセプション単体でなく、1年間の活動結果をみて効果を評価したい。また今回の経験を活かすためにも、みなさんの意見をいただきたい。（近藤）

新採レセプションについて確認したい。行って加入者はどうだったか、また今後の実施へ向けて反省点は？（木村）

第39回中央委員会
6月22日、アイリス愛知にて県職連合第39回中央委員会が開催されました。
病院組合からは、8名の中央委員の出席と2名の委任状提出があり（定数10名）、一般経過報告及び第2号議案「予算の更正」において、病院組合所属の中央委員から質問があり、その質問に対して近藤県職連合副委員長（病院組合委員長）が答弁する場面がありました。

WOMAN EXPO 2026 summer レポート①

6月6日（土）渋谷ヒカリエにおいて
WOMAN EXPO 2026summerが開催されました。組合員から4名
参加しました。そのレポート第1弾をお届けします！

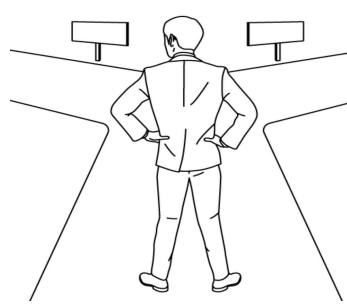


「専門家と学ぶ！夏の眠を奪えるクーラー時代ならではの睡眠対策」
近年の猛暑により、エアコンを活用しながら質の高い睡眠を確保することの重要性が高まっており、快適な睡眠のための具体的な方法について学びました。
対策の一つ目は「入浴」です。就寝の約90分前に、40℃程度のお湯に10〜15分浸かることで深部体温が適切に上昇し、その後体温が下がる過程で自然な眠気が促されます。また、自律神経のバランスを整える効果も期待できるとのことでした。
二つ目は、「身体をほぐすストレッチと呼吸法」です。軽く身体を動かして筋肉の緊張を和らげた後、「4秒吸って8秒吐く」呼吸を繰り返すことで副交感神経が優位になり、末梢血流の促進につながります。心身がリラックスし、入眠しやすい状態をつくることができます。

三つ目は、「エアコンの使用を前提とした寝具選び」です。温度や湿度を調整しやすい寝具を活用し、寝具内環境を温度33℃、湿度50％程度に保つことが快適な睡眠につながるという説明されました。エアコンを無理に控えるのではなく、適切な寝具と組み合わせる活用することが大切とのことでした。
今回のセミナーを通じて、夏の睡眠の質を高めるためには、入浴・リラクゼーション習慣・寝具環境の見直しが必要であることを学びました。日々の生活に取り入れ、健康維持に役立てていきたいと思っています。
（精神 浦山さん）

フリーアナウンサーの神田愛花さんが幼少期からNHKアナウンサーとして働くまでとNHKを退職してからフリーアナウンサーとして活躍するまでの過程について今までのロールモデルがない中でどのように頑張ってきたか話をしてくださいました。
テレビに出ているような人がどのような選択をしてキャリアを築いてきたのか、今の自分が今後のキャリアを考える上で参考になるのではないかと考えたことが受講の理由でした。
セミナーでは、幼少期から周囲が見ると変わった選択をしてきた

と思われることも自分の中ではアナウンサーになりたいという理由があつて選択を続けてきたことを話していました。そこには周囲の意見に流されるのではなくて自分ならどうしたいのかという意思を持っていることが伝わってきました。NHKアナウンサーになってからは、報道に関わりたかったがバラエティの適性を見出されたこと、自分の希望とのギャップを感じていたが自分ができることは何かを考へながら日々の仕事に取り組んでいたことを話されていました。
日々の仕事において自分の希望と周囲から求められるこのギャップは多くの人があるかと思いますが、与えられた役割の中で自分であれば何ができるのかを考へながら仕事に取り組むことの必要性を



再認識することができました。フリーアナウンサーになってからは、思うように仕事が出来なかったが常に自分ができることは何かあるかと考へられた仕事を全力で取り組んで結果を出していくうちに今まで前例がなかったNHKから昼のバラエティ番組のレギュラーになったことを言われていました。
自分が後悔のしないような決断や選択を積み重ねていくことが前例のないことに対して道を切り開いていくうえで必要なことだと印象に残りました。
（精神 森田さん）